

天拝山(257m)から観音山(132m) ～裏山からロング～

【報告者】T橋

【日時】2018年1月27日

【天候】くもり

【参加者】T橋

《コースタイム》

天拝公園 745－天拝山 800－牛頸山 930－矢岳 1105－稜線復帰－観音山 1405－JR博多南
1430

《 報 告 》

「こっちは山ばかりだな」

以前父親が福岡に来た時に口にしていた言葉を意外な思いで聞いた。確かに実家のある千葉には周囲まったく山などなかった。福岡では見回せばそれぞれに山が見えているが、それを登る対象の「山」と意識するかどうかで、見え方はまったく違ってくるのだと思った。最近とくにそれを強く思う。

このへん、山ばかりじゃないかって！

ふもとから遊歩道を20分ほどで登れる天拝山は筑紫野市民に一番なじみのある裏山だ。いつ行っても散歩やウォーキングの人が絶えない。見晴らしの良い山頂から奥に伸びるトレイルをたどり、天拝湖に向かう九州自然歩道と分かれると、そこからは山登りのエリア。黒金山から牛頸山へ伸びる稜線はよく踏まれて道標も豊富。走れるところも多いが、目の覚めるような直登もあり。市内方面の展望が望める牛頸山までだけでも十分に楽しめるが、今回はそこらがメイン。

次に目指すは最近マイブームの成竹山と牛頸山の間位置する矢岳(385m)。赤テープに導かれ、九電の巡視路をたどり、ここ数日の冷え込みですっかり雪をまとった脊振山がどーんと見えてくると山頂。こじんまりした広場に手作りのベンチもある。展望も○。

ここからいったん牛頸山方面に戻り、最終目標の観音山へ続く稜線に登り直す。標高2～300mで淡々と続くトレイルは、目標物が少なくして現在地確認が怪しくなる。基本尾根つたいの赤テープを追うが、ときおり現れる先の分からない分岐も迷わず要因で、思うように距離が縮まらない。さらに後半は、尾根を切り開いたゴルフ場が登場。やや荒れた竹林をじりじり進んでいるすぐ横で、社長や専務が「ナイスショット！どうですこのあと一杯」などとやっているのだろう（偏見）。

突然飛び出す造成地のわきをオロオロしながら通り抜け、崩れかけた作業道を登り、石割山を経てようやく観音山へ。こちらはさしずめ那珂川町の裏山ってところだろう。



眼下に新幹線基地が見え、那珂川町から市内までの視界がいきに開ける素晴らしい展望だった。

フィナーレは「プラス 100 円で乗れる新幹線」。歩きの途中からもチラホラ見えていた新幹線に、JR 博多南から乗って帰る。鉄分摂取も完了です！



【ザ裏山対決！？ 筑紫野市：天拝山 vs 那珂川町：観音山】

【本日の行程】

